

地域企業マネジメント特論（二）（2単位）

担当者氏名 黒瀧 秀久

◆学習・教育目標（到達目標を記載）

自然資源や生態系を維持しつつ地域の産業や経済を持続的に発展させるべく、長期にわたって自然や資源を利活用する仕組みとマネジメント手法を学び、21世紀型の地域企業マネジメント論の基礎的理解を深めることを到達目標とする。本講義では、「21世紀型の企業マネジメントのあり方」をテーマに、従来のマネジメント論に加え、エコ・システムマネジメントの視点と組織間ネットワーク戦略やネットワーク・コーディネート組織の課題を踏まえて追究する。

◆取り扱う領域（キーワードで記載） ご自身のキーワードを記入してください

戦略的マネジメント 中小企業 人材マネジメント コーポレート・ガバナンス
 エコ・システムマネジメント 技術経営 組織間ネットワーク戦略 ネットワーク・コーディネート組織

◆授業の進行等について

	テ ー マ	内 容	準備学習(予習復習)等の内容と分量
1	マネジメント理論の諸系譜（第1～4週）	マネジメント論の諸系譜を学び、21世紀型の戦略的マネジメント理論を考究しながら、中小企業や地域企業のマネジメントの課題を理解する。	◎準備学習としてレジュメを作成して報告し、講師に質問をするなどして授業内容を理解するように努めること。
2	戦略的マネジメントの基礎視角（第5～8週）	戦略的マネジメントの基礎視角として人材マネジメント、環境マネジメント、CSR、ステークホルダー、コーポレート・ガバナンスを分析する。	◎また、講義で配付された資料等については、講義後、復習をすること。
3	エコ・システムマネジメントと企業経営（第9～12週）	生態系や自然資源の適切な管理と地域社会の持続的な発展を両立すべく、エコ・システムマネジメントの視点を加えたマネジメント論の理解を深める。	
4	技術経営の視点と持続可能なマネジメント論（第13～15週）	技術開発と事業化の視点を持つ技術経営に着目し、組織間ネットワーク戦略、ネットワーク・コーディネート組織から持続的経営を考究する。	

◆教科書及び資料（授業前に読んでおくべき本・資料）

書名／著者／発行所（発行年）

『新しい戦略マネジメント 戦略・組織・組織間関係』／山本健嗣／同文館出版（2007年）

◆授業をより良く理解するのに便利な参考書・資料等

書名／著者／発行所（発行年）

『グローバルな時代の経営革新』／林正樹・遠山暁編著／中央大学出版部（2003年）

◆評価の方法（レポート・小テスト・試験・課題等のウェイト）

毎回のレポートにて評価する

◆オフィスアワー

毎週金曜日の午後、研究室で質問等を受け付ける。

◆その他受講上の注意事項

教員から教わるのではなくて、自ら理論を創造するという態度で授業に参加してほしい。